

SCS REPORT

2011年3月期 第43期 第2四半期業績のご報告

「人」とともに 「技術」とともに

SCS 住商情報システム株式会社

「お知らせ」

弊社ニュースリリースを皆さまに直接メール配信するサービスを2004年3月から導入しております。

ご利用を希望される場合は、弊社ホームページのIRサイトにてE-メールアドレスのみご登録の程お願い申し上げます。

ご登録いただいた方には、弊社がニュースリリースを行う都度、E-メールにてニュース概要をお送りいたします。

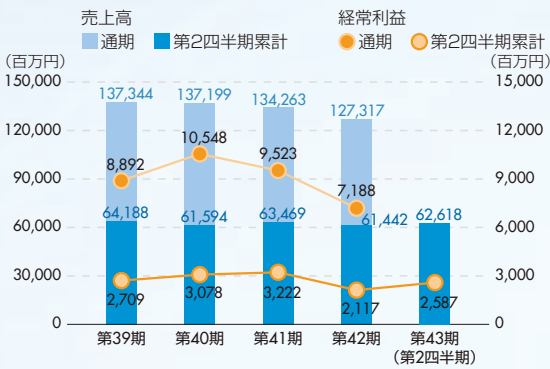
弊社ホームページ IRサイト
URL : <http://www.scs.co.jp/ir/index.html>



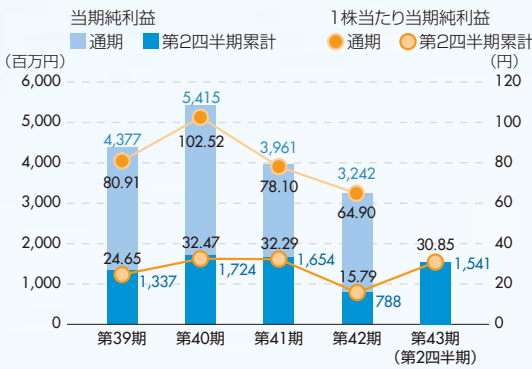
本誌は再生紙を使用しています。

SCS 住商情報システム株式会社

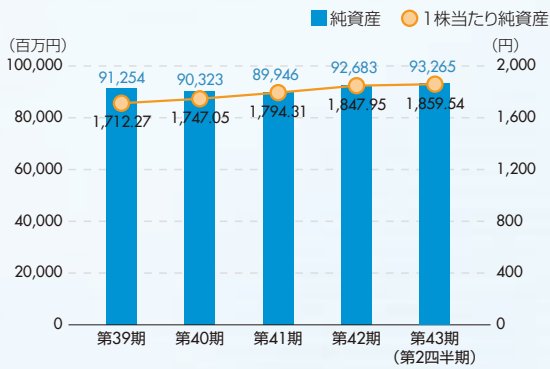
売上高／経常利益



四半期(当期)純利益／
1株当たり四半期(当期)純利益



純資産／1株当たり純資産



	第41期		第42期		第43期
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
総資産 (百万円)	112,879	114,210	113,373	117,545	118,011
自己資本比率 (%)	79.6	78.5	79.4	78.5	78.7
株価収益率 (倍)	—	14.5	—	20.9	—
期末株価 (円)	1,596	1,134	1,494	1,356	1,269

Corporate Vision

「人」とともに「技術」とともに
ビジネスバリューを創造する
グローバルITカンパニー
～世界トップレベルの品質を目指して～

株主の皆さまには平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに当社第43期第2四半期(2010年4月1日～2010年9月30日)の事業概況等につき、ご報告申し上げます。

2010年12月

代表取締役会長兼社長 中井戸 信英



CONTENTS

連結決算ハイライト	1	売上高比較	5	株式の状況	9
Corporate Vision	2	トピックス	6	会社の概況	10
連結業績の概要	3	連結財務諸表	7		

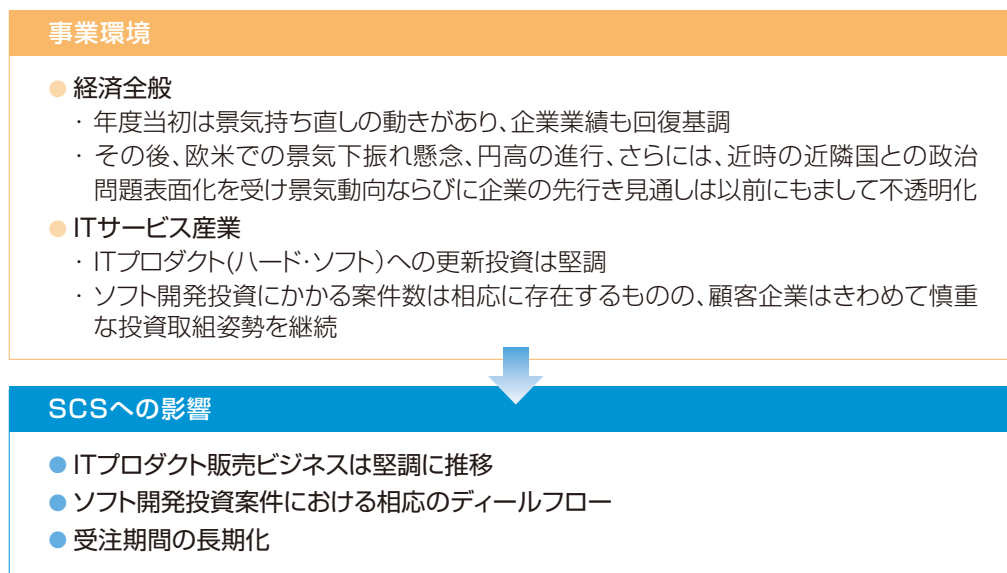
マーケット環境認識と業績への影響について

2011年3月期第2四半期連結累計期間におけるマーケット環境は、年度当初からしばらくは持ち直しの動きが続き、企業業績も回復基調にありました。しかしながら、アメリカ・ヨーロッパを中心にした海外での景気の下振れ懸念や円高の進行、さらには、近時の近隣国との政治問題の表面化などをうけて、企業の先行き見通しはより慎重なものとなってきております。国内においては、政府の補正予算等の追加景気

対策もその実施内容について不透明感が拭えず、また、ゼロ金利他の金融政策も円高対策・景気刺激策としての実効性が不安視されている状況と認識しております。総じて、現在の景気動向は、今年度期初にくらべて不透明感がより増している状況であります。

当業界を取り巻く経営環境としては、昨年度終盤から徐々に現れてきたハード・ソフトといったITプロダクトに対する更新投資が現時点においても回復基調にあり、ITプロダクト販売ビジネスは堅調な推移を示しております。しかしながら、ソフト開発ビジネスについては、一部の業種・顧客企業において積極的に投資

■ 事業環境概観



がなされたものの、全般的には投資の回復は明確ではありませんでした。リーマンショック後、IT投資の中止・縮小が続いてきた中、顧客企業においては、ITプロダクトの更新投資に加え、ソフト開発投資の本格的再開に向けた検討が進められております。従いまして、相応の案件数・ディールフローはあるものの、一方、景気の不透明感が払拭されない中、各企業におけるソフト開発投資にかかる意思決定は今までにもまして慎重であり、現実の発注量がなかなか増加しないという状況にあったと考えております。

2011年3月期第2四半期の連結業績について

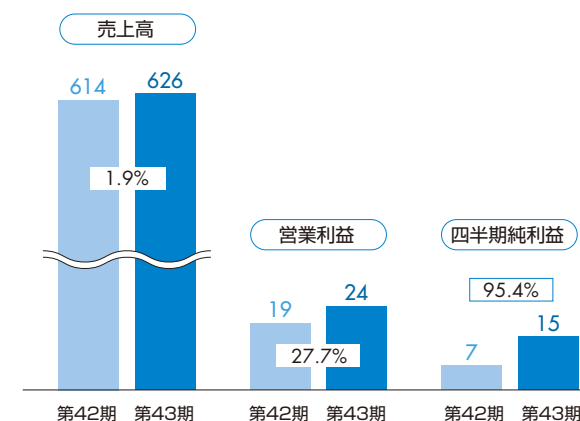
当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、製造業・流通業向け売上が減少したものの、通信業、サービス業及び学術・官公庁向け等のITプロダクト販売が増加したことに加え、金融業、通信業及びサービス業向けのソフト開発売上が増加したことにより、売上高は前年同期比1.9%増の62,618百万円となりました。利益面においては、販売管理費の一部削減等もあり、営業利益は前年同期比27.7%増の2,461百万円となりました。四半期純利益は、前年度の一部事業整理にかかる特別損失計上の反動増、また、今年度の投資有価証券売却益の計上等があり、前年同期比95.4%増の1,541百万円となりました。

2011年3月期の連結業績予想について

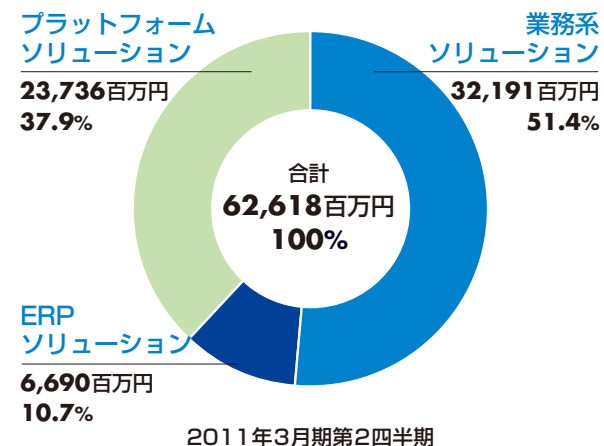
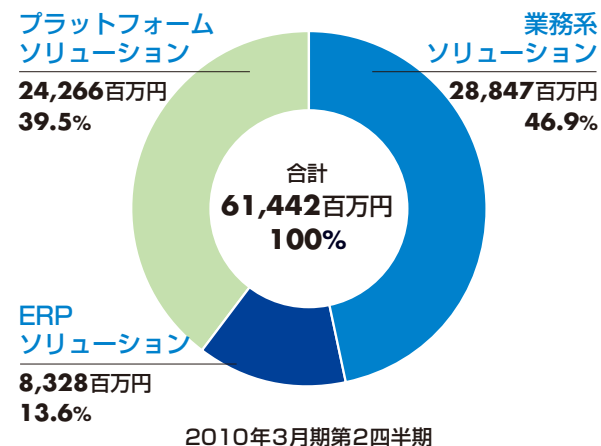
当第2四半期連結累計期間における業績は、販売管理費の改善もあり、期初予想を上回る数値で推移いたしました。

しかしながら、案件の獲得状況、各種プロジェクトの進行状況等、事業展開としては概ね期初予想の範囲内でありました。また、前述のとおり、景気の先行きは以前にも増して不透明な状態であります。足元の受注動向等からみて今後の当社業績は強含みで推移するとは想定されるものの、以上を勘案の上、2010年4月28日に公表いたしました通期の業績予想は据え置くことといたしました。

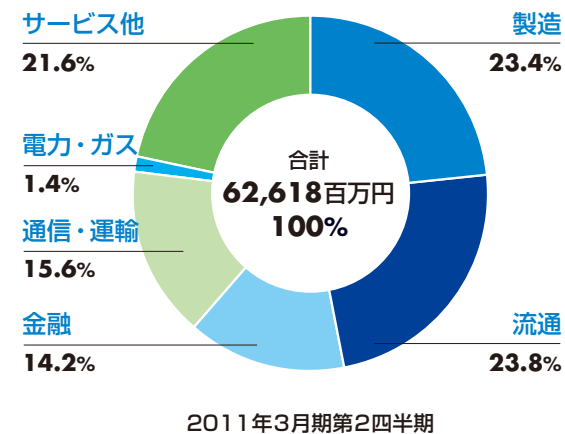
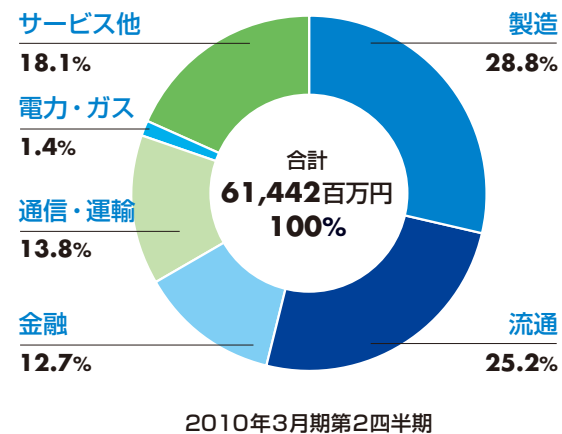
■ 2011年3月期第2四半期の連結業績 (単位: 億円)



ソリューション別売上高構成比



業種別売上高構成比

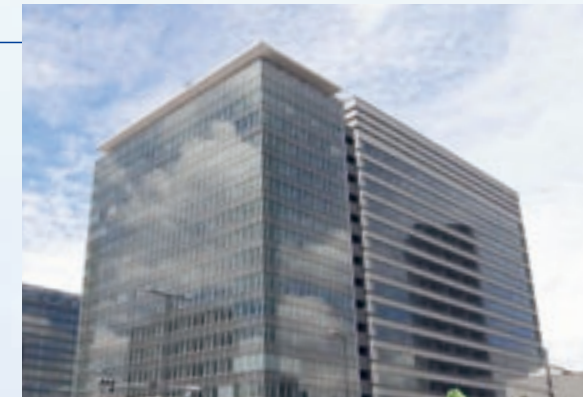


当社は、基本施策である「人と技術を大事にする施策」の一環として、働きやすい職場づくり、役職員の健康増進に向けた取組みを実施しております。

豊洲本社新設

2010年9月、江東区豊洲に豊洲本社を新設いたしました。

豊洲本社は、オフィススペースの拡張といったハード面もさることながら、食堂・診療所といったソフト面でも充実を図っております。役職員がその能力を最大限に発揮できる環境を整備することで、士気を高め、厳しい環境下でも成果を出し続けることのできる組織づくりを推し進めてまいりたいと考えております。



禁煙・健康増進キャンペーン実施

2010年11月より全役職員を対象に「禁煙・健康増進キャンペーン」を実施しております。

当社における福利厚生プログラムとタイアップした目標達成に対する報奨提供や、キャンペーン参加者の同僚、上司、家族などによるサポート体制をつくることにより、役職員の積極的な取組みを促し、役職員の「能力」だけでなく、「健康」への投資を通じて、「能力」と「健康」を備えた人材集団を実現してまいります。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部

● 売掛債権ならびに商品及び製品は減少したものの、豊洲本社新設に伴う建物及び構築物等の増加、敷金及び保証金の増加等により、資産は前会計年度末比0.4%増の118,011百万円となりました。

負債の部

● 豊洲本社新設に伴う資産除去債務の増加や、未払法人税等の増加はあったものの、支払手形及び買掛金等が減少したことにより、負債は前会計年度末比0.5%減の24,746百万円となりました。

科 目	前連結会計年度末 2010年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2010年9月30日現在	増 減
資産の部			
流動資産	62,521	59,414	△3,106
固定資産	55,023	58,596	3,573
有形固定資産	29,959	32,847	2,888
無形固定資産	6,218	6,507	288
投資その他の資産	18,845	19,241	396
資産合計	117,545	118,011	466
負債の部			
流動負債	22,793	21,661	△1,131
固定負債	2,068	3,084	1,015
負債合計	24,862	24,746	△115
純資産の部			
株主資本	91,902	92,649	746
資本金	21,152	21,152	—
資本剰余金	31,299	31,299	△0
利益剰余金	48,176	48,914	737
自己株式	△8,727	△8,718	9
評価・換算差額等	411	251	△160
その他有価証券評価差額金	979	973	△6
繰延ヘッジ損益	△2	△99	△97
為替換算調整勘定	△565	△621	△56
新株予約権	147	165	17
少数株主持分	221	199	△22
純資産合計	92,683	93,265	582
負債及び純資産合計	117,545	118,011	466

連結損益計算書

(単位：百万円)

売上高

● 製造業・流通業向け売上が減少したものの、通信業、サービス業及び学術・官公庁向け等のITプロダクト販売が増加したことに加え、金融業、通信業及びサービス業向けのソフト開発売上が増加したことにより、売上高は前年同期比1.9%増の62,618百万円となりました。

営業利益・四半期純利益

● 販売管理費の一部削減等もあり、営業利益は前年同期比27.7%増の2,461百万円となりました。四半期純利益は、前年度の一部事業整理にかかる特別損失計上の反動増、また、今年度の投資有価証券売却益の計上等があり、前年同期比95.4%増の1,541百万円となりました。

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2009年4月1日から2009年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2010年4月1日から2010年9月30日	増 減
売上高	61,442	62,618	1,175
売上原価	47,569	49,081	1,511
売上総利益	13,872	13,536	△336
販売費及び一般管理費	11,945	11,075	△870
営業利益	1,927	2,461	534
営業外収益	238	215	△23
営業外費用	48	89	40
経常利益	2,117	2,587	470
特別利益	4	305	300
特別損失	1,327	245	△1,081
税金等調整前四半期純利益	795	2,647	1,852
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,518	1,518
四半期純利益	788	1,541	752

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー

● 仕入債務の減少による資金の減少はあったものの、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少等により、資金は5,022百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

● 有価証券の売却及び償還による収入があったものの、豊洲本社新設等にかかる有形固定資産の取得、ソフトウェア等の無形固定資産の取得等により、資金は3,744百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

● 2010年3月期期末配当金の支払い等により、資金は1,182百万円減少しました。

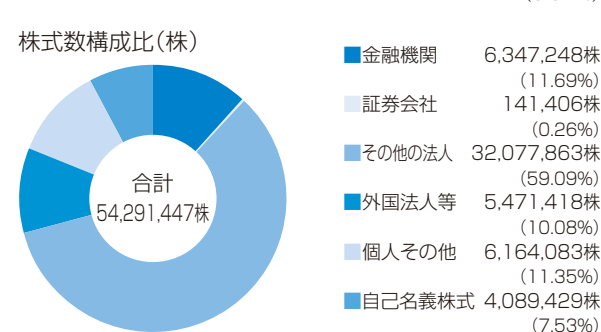
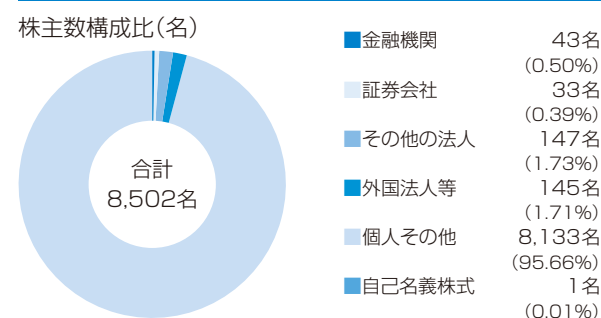
科 目	前第2四半期 連結累計期間 2009年4月1日から2009年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2010年4月1日から2010年9月30日	増 減
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,477	5,022	1,544
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,405	△3,744	661
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,907	△1,182	725
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	△62	△152
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,745	32	2,778
現金及び現金同等物の期首残高	29,267	26,202	△3,064
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,521	26,235	△285

会社が発行可能な株式の総数 200,000,000株
発行済株式の総数 54,291,447株
株主数 8,502名
大株主

株主名	持株数	持株比率
住友商事株式会社	30,254,359株	55.73%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,050,300株	3.78%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,178,900株	2.17%
株式会社アルゴグラフィックス	1,015,500株	1.87%
住商情報システム従業員持株会	961,774株	1.77%
HSBC BANK PLC - CLIENTS UK TAX TREATY	538,700株	0.99%
NIPPONVEST	515,000株	0.95%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	500,000株	0.92%
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	473,700株	0.87%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	450,700株	0.83%

(注) 上記ほか、当社所有の自己株式 4,089,429 株 (7.53%) があります。

株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法 電子公告にて掲載。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
なお、決算短信につきましては、
<http://www.scs.co.jp/ir/tanshin.html>をご覧ください。

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
及び特別口座の 住友信託銀行株式会社
口座管理機関
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-176-417
(インターネット) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/>
ホームページURL <http://service.daiko/index.html>

会社の概要

設立 昭和44年(1969年)10月25日
資本金 21,152,847,708円
従業員数(連結) 3,548人
本社 晴海本社 〒104-6241
東京都中央区晴海1丁目8番12号
晴海アイランドトリトンスクエア
オフィスタワーZ
TEL : 03-5144-6000
FAX : 03-5144-6009
豊洲本社 〒135-8110
東京都江東区豊洲3丁目2番20号
豊洲フロント
TEL : 03-5166-2500
FAX : 03-5166-1009
ホームページ <http://www.scs.co.jp/ir/index.html>

連結子会社

Sumisho Computer Systems(USA),Inc.
SUMISHO COMPUTER SYSTEMS(EUROPE)LTD.
Curl,Incorporated
ヴィーイー・リナックス・システムズ・ジャパン(株)
SCSソリューションズ(株)
住商情報システム(上海)有限公司
住商情報システム(大連)有限公司
(株)アライドエンジニアリング
Sumisho Computer Systems(Asia Pacific)Pte.Ltd.
元普信息技术(上海)有限公司

取締役及び監査役

代表取締役会長兼社長	中井戸 信 英
代表取締役	露 口 章
取締役	油 谷 泉
取締役	鎌 田 裕 彰
取締役	栗 本 重 夫
取締役	小 川 和 博
取締役	福 永 哲 弥
取締役	新 海 立 明
取締役	印 南 淳
取締役	内 藤 達 次 郎
取締役	竹 岡 哲 朗
監査役(常勤)	小 島 收
監査役(常勤)	朝 香 友 治
監査役	舟 崎 宏
監査役	渋谷 年 史
監査役	栗 山 幸 造

持分法適用関連会社

(株)バイオニア・ソフト
楽天バンクシステム(株)
(株)エイトレッド
住商情報データクラフト(株)
(株)アルゴグラフィックス